

昭和10年

1月1日(火)晴。正月にて8時半頃ゾウニを食う。皆よく喰う。チェリーが一番小食なり。朝手分けして年賀に回る。向かえない家も大分ある。

午後、晩、トランプ盛なり。マージャン党とて如何せんか！！ ミカン盛んに喰う。モチを喰うせいか喉が渴くのだ。

1月2日(水)晴。猛烈にさむい朝。零下十四度か！！ 大島、若松、木村、桜林、残留組一同、初登山をやる。大橋君はルス番。ハルカ山！！ゲレンデはひどく荒れて居て、クサル。天気のみ頗るスバラシイ。今日は故坪田兄の亡くなられた日だ。

1月3日(木)ハレ。朝食は8時と決める。木村君、雪ふらざるを嘆いている。

1月4日(金)雨後雪。生あたたかい日。

お正月にふさわしくないなと思っている処へ雪が降り出して路の雪はドンドンとけて行った。夕方から吹雪に変わった。明日の山行はハッピーらしい。

1月5日(土)雪。朝は好い天気だったが風があった。午後に入って雪が加わる。木村君は午前中スキーを携え出掛けた。

1月6日(日)少し雪。若松、木村君は午前から円山へ。大島君はヒルから藻岩山へ行く。日活館でリリアン・ハーヴェイがウタってる。〔前年から公開されている映画「会議は踊る」で主演の街娘役の女優〕

3 3 コマ目 - 2007.5.17

1月7日(月)朝、近藤君、昼、藤田一君かえる。

1月8日(火)小雪。学校始まる。どこも講義は無かったらしい。冬休みもいつの間にか終わってしまった。晩、広瀬君がかえる。今学期は短い、そして此の学年も終るのだ。

1月9日(火)10時頃より3時頃まで吹雪く。昼舎に帰舎する者はつらし。登校前突然アカシアの本屋の主人、若松さんが訪れる。

寒に入り日増しに寒くなる。夜10時頃誰か前の池でスキーイングしている。

1月10日(木)晴。昼1時頃、桜林さん一人で円山にスキーに行かれる。今朝6時は零下12度。相当に寒し。

1月11日(金)零時半頃まで吹雪。午後は晴。朝大鐘君帰舎さる。午後3時頃、木村君円山にスキー。

1月12日、土。午前中晴。午後より吹雪。夜に入り益々盛。大島さん遥山〔春香山〕へ、木村君は円山へ。

1月13日、日。晴後曇。若松さんは砥石山へ、近藤君は円山へ。夕方大島さん春香山を完全に荒らして帰舎さる。

夜谷口君元気で帰舎。これで総勢9人、後一人。「櫓の音」の原稿用紙を配る。

副舎長より宮部先生は17日御帰札の予定と。石炭を節約して使用されたいとの掲示あり。

1月14日、月。曇、粉雪ちらつく。大学構内にはエンジンの音高らかに排雪トラクター出動す。今夜は稀に見る月夜なり。遠くで下り列車の汽笛が鳴った。

1月15日、火。曇。寒くなった故の才寝坊サンが増えた。夜、藤田康さん相変らずの御元気にて帰舎。

3 4 コマ目 - 2007.5.17

1月16日、水。曇、小雪時々ちらつく。ロータリー電車活動す。

1月17日、木。軽曇。桜林さんは戸別[沢]、木村・近藤両君は荒井[山]へ

1月18日、金。晴、朝真綿[雪?]が2、3寸あった。夜永井さんが来舎さる。

1月19日、土。晴、午後9時30分の列車にて〔台湾旅行から〕宮部先生御帰札なされる。大変若返られ御元気でした。月夜なり。

1月20日、日、晴、若松さん手稲[山]へ。スキーを折られて御悲観の態。大島さんは砥石[山]へ、木村君は砥石へ、康さん、谷口君、近藤君は円山方面へ。中々皆様もスキーに御精が出ますが、無理をなさらぬ様に。

1月21日、月、晴。

1月22日、火。午前中晴。新雪5、6寸。午後ヨリ吹雪。夜二入り益々ヒドシ。近藤君八朝ヨリあかえぞスキー大会に往キ、午後吹雪ノタメ中止トナリ帰ル。

1月23日、曇。昨夜の暴風も幾分おさまり所処方々で吹溜りを作る。内地・本道・樺太も大吹雪で列車・汽船も運転停止とある。夜に入り風は木々を吹鳴す。WC、六[号室]雪の侵入益々ヒドシ。

午後7時より1月の決算を特別室で行ふ。平常より幾分高上り。1日の食費金60銭也。

1月24日、木、曇。玄関の電燈切れる。

1月25日、金、曇。新雪2、3寸あり。午後より夕方まで吹雪。玄関と門燈をともす。

1月26日、土、晴。康さん木村君は藻岩[山]へ、近藤君は滝ノ沢に、若松、康、木村、近藤の4君は手稲行きを約す。

1月27日、日、晴。4人早朝出かける。晴天にて気分頗る良し。頂上にての羊蹄、樺前其他の諸山指呼の間にあり。壮観なり。

35コマ目 2007.6.20

1月28日、月、晴。

1月29日、火、晴、木村、大鐘両君は野外教練のため円山方面(スキー教練)

1月30日、水、晴。大橋さん盲腸手術のため午後、大学病院柳外科11号室に入院。経過良好なりと。1日も早くご退院なさるようお祈り致します。ご卒業を控えて誠にお気毒な事です。幸い先輩、奥田先生のお手を煩わし舎生一同も安心です。

2月1日 夜月次会委員諸君は買い物に出掛ける。

2月2日、土、晴。宮部先生御帰札の歓迎を兼ね本年最初の月次会を開く。来会者、宮部先生、奥田先生。大変ひっそりとした月次会であった。

2月3日、日、晴。康さん木村両君は茂岩、若松、谷口、近藤君等は円山方面へ。

2月4日、月、晴。後7時半頃より11時頃まで約3寸の降雪あり。

2月5日、火、晴。夜舎生一同、宮部先生の御招待を受く。先輩等と御馳走になり11時頃帰舎。

2月6日、水、曇。午前8時7分の汽車で藤田一、大鐘、大橋君を除く一同は手稲行。曇天なるも雪質は良好。午後3時半の汽車で無事帰舎。夜8時半頃おしるこ出る。

2月7日、木。近藤君はスキー教練のため円山へ。

2月9日、土、晴。夜グランドホテルの商工会議所ホールで開かれたレコードコンサートに康、木村、谷口、近藤君ら行く。午後の汽車で桜林さん、芦別岳へスキー。

36コマ目

2月10日(日)小雨降る。桜林さん帰舎。
2月11日(月)晴後曇。学校の式に行く。「櫓の音」発行。
2月12日(火)曇。大橋さん退院さる。今日で恰度2週間なりき。夜特別室で大橋さんの退院祝のコンパを開く。
2月13日(水)曇。
2月14日(木)曇。
2月15日(金)晴。温暖なり。
2月16日(土)晴後曇。
2月17日(日)晴後曇。
2月18日(月)晴後曇。
2月19日(火)晴。文武会音楽部主催のレコードコンサート、中央講堂であり。木村君は中学会の送別会の為外出。
2月20日(水)昼頃より2時頃まで吹雪。
2月21日(木)晴。時田先輩の送別を兼ね、大島、大橋両君の送別会を24日午後6時より豊平館にて開くと掲示あり、会費1円50銭、委員桜林、大鐘、近藤。
2月22日(金)晴後曇。雪解け、悪路となる。
2月23日(土)晴後雪。夜決算をす。1日の食費47銭。午後10時半頃近藤君のお父さん見えられ、ミカン1箱戴く。
〔参考：この年の物価：コロッケ2銭、カレー10銭、牛乳7銭、コーヒー15銭、ラーメン10銭、そば13銭、映画50銭、銭湯7銭、封書3銭、八ガキ1銭5厘、新聞(1ヶ月)90銭、レコード1円20銭 - 編集者〕
2月24日(日)晴。7時より送別会を豊平館にて開く。先輩多数見えられ10時頃閉会。
2月25日(月)晴 2月26日(火)晴
37コマ目
2月27日(水)曇。 2月28日(木)曇、雨。
3月1日(金)曇。
3月2日(土)全 3月3日(日)晴
3月4日(月)晴。予科の試験開始。
3月5日(火)晴
3月6日(水)晴のち曇り、雪。2、3糎の降雪を見る。地久節の御儀 御取止め。
3月7日(木)曇。
3月8日(金)晴。食後、部屋委員の改選あり。
委員： 食事部...谷口、近藤君。 会計部...若松君。
運動・衛生...木村君。文芸部...康君
3月9日(土)曇。第七師団の凱旋兵、午後7時10分と8時50分の2回札幌迄バス。祝凱旋。康君、大鐘君、谷口君、午前9時50分の汽車で帰省、舎内は急に淋しくなる。
3月10日(日)曇。陸軍記念日。豊平河畔にて模擬戦あり。
3月11日(月)曇、晩雪。春のたわむれ、スキーヤーは喜ぶかな。
3月12日(火)曇。木村君、朝の汽車で帰省。

3月15日(金)晴。近藤君の弟、受験の為来舎、宿泊す。

38コマ目 2007.6.30

3月18日(月)晴。昨春ははるばる満州の野へ出動せる幌東・月寒連隊の晴れての凱旋の日なり。午前9時6分、永見俊徳大佐引率のもとに割れるが如き感激と興奮の二重奏に黙々と答えつゝ、駅頭、凱旋門をくゞりて兵舎へと行進を続く。この日、朝来珍しく晴。雪解の悪路を停車場へノノといそぐ人足に5条通りの活気の良さ。戦わずして満州治安の維持に努む。これ日本男児の本懐。月寒連隊の絶大なる名峰なり。あゝ凱旋兵の喜びや如何。万歳の波濤、国旗の乱舞、熱狂とはかゝる雰囲気を称すや？

時恰もジョン・アール・モット博士の離札の時刻。佐藤男爵との古き約束を果たすべく、この2、3日来、札幌市民に見え、偉大なる精神的講演の神髓を披瀝し、世界青年の指導者モットを投げつけたのであった。＜ 方向感覚の誤った、このような自己陶醉の書込みもまた時代の刻印として、ひとまず書き取る - 編集者＞

時田先輩(北大YMCA会長)、藤田一君の顔、駅に見ゆかと思えば大橋君、大島君、等々の顔、民衆の中にあり。

医学生諸君、試験々々で今日も暮れる。誠に「試験なるもの早く散って失せろ！」である。

藤田一君、昨夜は病院泊り。外泊は珍しと昨夜心配するも多々ありき。

副舎長事務引継を特別室に於て行ふ。大橋君、論文作製にラストヘビー。

受験生、近藤弟君、悠々可愛き体験を市中見物とある。若き生命は其の一端なりとも角帽諸氏にとりては良き蘇生剤なり。

3月19日(火曜)晴。午前10時大島君、藤田一君、新旧副舎長相携えて教室に宮部39コマ目

舎長を訪ね、交代の御挨拶をなす。時一日か許せば御飯を食べに来いとこの事であったが、見学旅行その他で日程の切迫してる一君、やむを得ず本日出立。(午後の急行)

3月20日(水曜) 大橋君連日論文仕上げに奮闘。大島君いよノノ本日午後論文審査、無事通過とか。医科マン、最後の試験を控え孤軍奮闘。

3月21日(木曜) 卒業期を控え各所に謝恩会、・・・会漸く盛ん。又、予科試験も切迫し、受験風景も漸次色濃しか。

3月22日(金曜) 医科試験終了す。

3月23日(土曜) 予科試験始る(入学試験)

3月24日(日曜) 桜林君、本日ヘルベチヤへ出立す。本日欠食に非ず。

3月25日(月曜) 札幌 還元せり。風すごく雨雪吹きまくる。

3月26日(火曜) 夜、桜林君、元気にて帰舎す。

3月27日(水曜) 朝の急行で大島君、6年間遊学の地札幌を左様奈良して東京、神戸を指て。彼の感慨や如何に。

3月28日(木曜) 朝、桜林君帰省す。夕方の急行で大橋君、退札。 君も見送りに集る。元年まで帰る。今日より2人。

3月29日(金曜) 近藤や君、お父さんがいらしたので終日外出。

3月30日(土曜) 夜、近藤康君、帰釧す。若松も明日より山へ。

40コマ目 2007.6.20 メモ

3月31日(日曜) 朝、若松、無意根へ出かけた。

4月2日(火曜)若松君、山より帰る。

4月3日(水曜)若松、本日より外泊、欠食。本日壁直し来る。

4月7日(日曜)夜、若松帰る。近藤君、家が札幌へ引っ越して来て、本日荷物をまとめて退舎す。

4月8日(月曜)夜、谷口君、木村君帰舎す。予科本日より始まる。

4月9日(火曜)暖し。予科生、学校へ。ガッチリやっている。

4月10日(水曜)夜、1年ぶりに山根君帰舎。黒くなって来た。

4月11日(木曜)夜の急行で悠々と藤田一君帰舎。愉快に見学旅行を済し、神戸では増井君の許で大島君と3者相合した由。

4月12日(金曜)晴。一君、若松君と予科事務所へ行き合格者名簿を調べ勧誘状(ハガキ)を出す。

4月13日(土曜)夜、桜林君帰舎。若松・山根・木村・谷口の4君、商工会議所ホールで開かれたヴィクター・コンサートに行く。一君は留守番。

4月14日(日曜)ボツノ、室換えが行われる。黄塵を浴び乍らも春とて人出が多い。植物園のローンも大分青くなった。

4月15日(月曜)今日より本科マン一斉に登校。大鐘君帰舎。

4月16日(火)晴。田村光也君(予・農1)(静岡県葦山中出身)入舎。ストーブ取り外し。

4月17日(水)曇。玉山和夫君(予・工・1)(帯広中出身)入舎。母君付添にて来舎。菓子一折寄付さる。夕6時より特別室にて歓迎コンパを行う。

41コマ目

若松君風邪模様。他の舎生はすべて元気。食欲次第に旺盛になる。

4月18日(木)フレッシュマン初登校。一日中寒し。

4月19日(金)晴。先輩多勢氏、郷里へ引き上げられる事で相談に来舎さる。札幌出発は21日との由。

4月20日(土)晴れで風あり。今日より6大学リーグ野球戦始まる。

4月21日(日)朝からの照ったり曇ったりの天気は午後になり、雨になる。折角の日曜も雨に降られてオジャン。多勢氏帰郷。藤田一君、若松氏、駅頭に見送る。台湾に大地震。

4月22日(月)曇。康君よりの便りに依れば「所用にて5月迄は帰らない」と言った方がエラーの率が少い由。永井君、久し振りに来訪。

台湾北部の激震の被害はその後の詳報に依ると甚大で、死者は2500名に達し、傷者は数知れず。関東大震災に次ぐ天災だ。総督府は台湾軍と協力して救済・治療に力を尽くして居る由。本島人の家屋は日本家屋の木造と異り煉瓦・土製の為倒壊、圧死者を多く出したものらしい。台中東方が震源地であったとか。

4月23日(火)曇、午前10時頃、突然、天空暗闇となり、雷鳴轟く。札幌の今頃には珍しい天気。

4月24日(水)平山常男君(予・農1、水戸中出身)入舎。木村君と同郷の由。夜決算。学期始めは何時も高くなるが、今回は食事部・谷口君の敏腕に依り1日54銭の例外的食費。終て後歓迎かねコンパ。

4月25日(木)晴。朝の日の出と共に東側の住人早起。

42コマ目 2007.6.20

4月26日(金)晴。夜、休暇を利して桜林君、ピッケルを片手に大雪へ出掛ける。

4月27日(土)夕方、佐々木君来訪。玉山君を伴い、帯広中歓迎会出席。

4月28日(日)曇、谷口君、茨戸行。若松君、新調の背広にソフトを新調。残るはアルトとしての技術!

4月29日(月)曇。天長節も曇りで情なし。フレッシュマン、神妙に中央講堂の式に参列。午後、フレッシュマンを交えピンポン。

4月30日(火)池谷理君(東京府立一中出身、予工類1年)入舎さる。青葉先生〔予科・物理学、青葉萬六教授〕の紹介。朝よりの雨は曇〔みぞれ〕となり寒気強し。柳川洋一君(水戸中出身、予農1年)入舎さる。

桜林、康、帰舎。この日記帳此の頁で満1年。

5月1日(水)池谷、柳川両君歓迎と紹介の会、晚餐後。

柳川、平山両フレッシュマンの名コンビ、盛んに水戸を発揚する。50銭の校友会費であらゆるスポーツに優勝旗を獲得した話。5・15の関係者は、全部僕等の先輩です。而も彼らは無邪気そのものだ。

5月3日(金)天候すぐれず。火鉢を入れ、皆、稍くさり勝ち。夕方になり稍天気快方に向う。

5月4日(土)新入生歓迎月次会の日。連日の悪天候もそろそろ快復したらしい。午後はテニスコートで野球を行う。

定刻5時を過ぎる事1時間余、6時頃より晚餐会。宮部先生、犬飼、奥田、鈴木、山口4先輩御出席。

43コマ目 2007.6.20

宮部先生の御話によれば、札幌農学校第一期生、二期生の時代には農学校寄宿生は禁酒禁煙契約に署名したとの事(第3期以後はこの事はなかった)。着任後先ずクラークさんは、厳重な舎則の内で乱暴に生活していた学生に、"Be gentleman"の一句だけを心がける様に言われたので皆、返って自制したとの事。尤もすぎるほどに尤もな事だ。人格を認められたことに反応して責任感を起こしてこそ、真の人格教育は可能なのだろう。クラークさんの次の工作が禁酒禁煙契約であって、本国より持参のブドウ酒の類を処分した後に、先ず自ら率先して契約書に署名し、学生にも勧められたとの事。実に普通な、正当な方法だ。「教育者の誇」は、だが、余程の人格者のみを感じうるものだろう。

いつもながら慈愛に溢れる諸先輩の言に感謝する。寄宿生活が他の生活では得られぬ特権として、吾々に社会性を、社会生活に連する性質を付与し訓練して呉れるのだから、舎の良さが分かる迄は辛抱して御覧なさいと訓話される。

舎生は札幌の自然を謳歌する。

5月5日(日)風強き恨みあるも晴天。野幌に遊ぶ者あり。

5月6日(月)schoner Mai!!は遂に訪れた。

植岡君、大賀教授に伴われて来り、入舎。

5月7日(火)新入予科ボーイの制服が仕上がって配達されて来るのが目に付くこの頃だ。懇親の薄別旅行発表さる。

44 コマ目

賄のおジイさん、フトン乾しの竹竿を2本買って、ウンウンかついで来た。フトンを乾したくなるのも天気の良いせい。

5月8日、水。5月24日迄に大掃除施行の事、提示される。

5月9日、木。新入の植岡君を御紹介のため副舎長、宮部先生を訪う。昨日よりご病臥の由。

桜林君大学病院で歯の治療開始。

5月10日、金。快晴。

5月11日、土。午後1時48分豊平発電車〔定山溪鉄道のこと〕で薄別に行く。11人。例年通り牛鍋の晩餐。6人の若き新人の元気、実にたのもしい。

5月12日、日。附近の山奥に武者修行に行く者、ヤマベの孵化場を訪れる者。碁や将棋も盛んだ。午後3時34分の電車で帰途。

桜林君は歯の手術の為、谷口君は国際協会学生支部の仕事の為、大鐘君は健康上の理由で3人不参加。

5月13日、月。風吹き、天候悪変の兆。

5月14日、火。桜星会大会、真駒内で挙行の筈の所雨天の為、中央講堂に変更。予科生悲観（翌日の慰労休暇消失の為め）。

5月17日、金。文武会デー第1日。晴天。藤田一君はクラーク会でニセコにお先。大掃除3室。

5月18日、土。曇。文武会第二日。講演会 に行く。

5月19日、日。晴天。大掃除盛ん。植物園にヤカンを持参したグループあり。夜、一君、帰舎。

45 コマ目

5月21日、火曜。賄のお爺さん北斜面に垣を結う。東側の窓下の通行人を無くす為。

5月22日、水曜。朝、豪雨、午後より晴。ピンポン熱勃興。

富貴堂より10ヶ月払い（1月2円40銭）で「第九」を購入。〔この時はSP盤8枚組セットだった筈。比較物価では、この年1935年で白米10^{キロ}で2円50銭くらいであった。これは現在の3000円くらいと見なして良からう〕

5月24日、金曜。5月分決算。1日47銭也。

5月25日、土曜。晴天。食堂その他のガラス掃除。大掃除をした室も2、3ある。

5月26日、日曜。恵迪寮祭。晴天。通用門より植物園に遊ぶ者多し。

5月29日、水曜。木村君、大鐘君、野営に出発。2日欠食。

5月31日、金曜。木村君、大金君、演習から帰る。早速午睡。「牧笛」原稿未だ集まらず。

6月2日、日曜。晴天、強風。円山で蛇を採集したグループと月寒に射撃に行ったグループと茨戸に行ったグループ、植物園で出会う。蛇は植物園に置いてきた。桜林君、赤岩へ。

6月4日、火。原稿揃う。

6月5日、水。放送局の盗聴検査員氏に数室の鉱石受信器、発見さる。

午後9時、突然西側各室停電す。8号室では、池谷氏「牧笛」表紙の大作執筆中。山根技

師、フューズを都合して修繕作業中、更に東側の

46 コマ目

フューズも飛び、全寮暗黒化。非常管制！！ストームをやれ！！の声も起る。ローソクで勉強するのが好きだ！！と云う者。電話を掛けに走る者。茶る者。散歩に出る者。午後9時31分、屋外に人声烈し。

ゴミ箱中で火が燃えている。屋内は暗黒。火事はバケツ2杯の水で消し止む。正午頃、ストーブ掃除人が熱灰を投入していったのが原因か？

電灯屋、未だ来らず。ローソクに集いてアミダを行う。10時半、電灯屋来る。西側のみを残し、全部点灯。

6月6日、木。西側、電灯修繕なく。「牧笛」発行。

6月8日、土。門柱を建て直し。1号室を整理、応接室とす。夕方、御褒美のコンパ。

6月9日、日。曇勝ちの晴天。対高商戦に予科勝つ。

6月10日、月。予科休暇を賜う。夜、予科生間に論戦展開。先輩、後人にも開放されざる、その場限りの言論機関要望さる。

6月11日、火。降雨。有隣館主催チェンバリスト独奏会、公会堂。

6月12日、水。予科1年生、兵営へ。欠食2日5人とも。夜、中央講堂に、レコードコンサート。

6月13日、木。植岡君、級友と定山溪へ。

6月14日、金、1年生5人帰舎。

6月15日、土。札幌神社祭典。康、谷口、田村3君、夜、円山に登り、燈の街を創成川畔の雑踏にもまれるよりも、美しいお祭りの風景を味う。谷口君射撃部大会で国薦入賞選手に推戴さる。

47 コマ目

6月17日、月。予科試験近づく頃。製図と墨入れが頭痛の種。

6月18日、火。22日月次会、日程発表。委員、桜林、康2君。

6月22日、土。月次会。御出席の先輩、亀井、奥田、金森の3氏。宮部先生は内村氏の "How I became a christian" の日本語訳の御紹介の後、1冊の寄贈を申し出らる。舎生諸氏の熱論に された様であった。

月次会の後、来期委員選挙を行う。その結果：

食事部 大鐘君、平山君。 会計部 桜林君。

運動部 植岡君。 文芸部 池谷君。 衛生部 玉山君。

6月23日、日。雨天。予科の試験を控えて晴天すぎるよりはましか。

24日、月。「牧笛」の号外発行。予科生、ピンポンをする暇も惜しくなったらしい。

25日、火。6月の決算。食費45銭。

27日、木。財団法人の評議員会。

28日、金。予科生、図書館に出掛ける者 ある。嗚呼試験。

29日、土。関西地方豪雨とか。

30日、日。晴、夏らしい。苺売り始まる。未だ高い。折角の晴天。予科生、蟄居。ピンポンが折々聞えるだけだ。

48 コマ目

7月1日、月。来学期の部屋割り、副舎長より発表。9月入舎予定者2人もある。喜ばしい。北5条電車通り、道路工事中。トラクター喧し。

7月2日、火。来期の部屋抽選の結果。

1号 応接・娯楽室。 2号 若松君。 3号 大鐘君。 4号 平山君、柳川君。

5号 池谷君、辻君。 6号 木村君、玉山君。 7号 植岡君。 8号 渡辺康君。

9号山根君。 10号 谷口君、田村君。 11号桜林君。 12号 花島君。

7月3日、水。道路工事終わったらしい。

7月4日、木。予科試験開始。植岡君実習に出発。機械に入舎する人。

7月5日、金。康君、島松に演習に。学期末の気分濃厚。試験期にはおなかを悪くする常習、谷口君、オートミールを常食に採用。桜林君、夜行でヒョウ然と芦別岳に向う。

7月6日、土。競馬場行き自動車 通し。康君、演習で軽川へ。試験の連中、中休みの体。乗車券を買ったり、荷造りをしたり。一年生、雀躍して帰省の日を数う。藤田一、若松、谷口、康等、夕食後レコードを買いに富貴堂に。ショパン名曲集、10吋黒2枚。

7月7日、日、晴。谷口君、消耗を加えたるも、ピンポンの鉄 衰えず。木村、大鐘の両3年生、黙々と寝たり、読んだり、学問専一。1年目の連中、峠を越した様なホガラカサ。和気アイアイと勉強。山根先生明日はお発ちか。立つ鳥跡を汚さずとか。お部屋も綺麗に片付けてしまった。

49コマ目

7月8日(月)山根君帰省。藤田一君、康君と茨戸へ。初めてのオールを操り、半日で長足の進歩を遂げ、夕方帰る。康君、プランクトン網状をく。若松君、医局に初出張。

7月9日(火)試験終り予科生多忙?御訪問、御買物、御遊び。夕食後、明治製菓3階小室で離別コンパ。コーヒー、ケーキ、フルーツ、蜜豆外を吸収〔 〕。8時半散会。木村、谷口、田村、平山の4君康君に唆されて三角山夜間登山に向う。9時頃円山終点を出発、10時15分、三角山の頂上近くに達す。ホーバ〔朴歯の下駄〕を履く者2人の運行危険の為、岩石地帯の登攀中止し、帰途につく。終点発11時15分の電車で帰舎。

〔 明治製菓 = 北3条西11丁目の明治製菓札幌支店のパーラー 〕

独逸は戦艦の建造を発表。エチオピアの伊太利の国策遂行手段としての戦力の移動を訴える提訴を国際連盟諸国の動き。親日を疑い、排日を行う二重政策打破を目的とすると云う。膝詰め談判、所謂北支問題も、「新生」の不敬記事掲載の陳謝を最後に、真実解決したのかしら。世界よ何処へ行く?舎ではスイートホームへ還らんのみ!!

7月10日、水曜。朝9時の急行で大鐘司令官引率の元に柳川、池谷、田村、平山の諸氏離札。藤田一君、見学旅行に出発。玉山、谷口、木村、康4君、茨戸の水に親しみ6時半頃帰舎。木村君は明晩出発、羊蹄に登るとか。送別ピンポンを行う。

50コマ目

7月11日、木、藤田一君、午後帰舎。若松君、相変わらず終日病院詰め。桜林、谷口、康、スカールに〔茨戸でのボート競技〕。夜9時、木村君、羊蹄経由で帰省。玉山君、早朝帰省。水筒と写真器をクロスした得意のスタイルで。

静岡県の強震をラジオは伝う。

7月12日、金。朝谷口君 を連れて帰途に上る。藤田一君、終日舎の用件の後始末に尽くして夜行で帰途につく。植岡君、晩方、実習より帰る。桜林、康君、夕方より外出。

北5条線・競馬場行きのバスの黄ジンは莫大。函館高等水産教授、時田先輩、樺太方面に海藻採集の途次、寄舎さる。10人の若武者なき跡の孤城を守る者、今や4人。半月は叢雲に隠れ、植物園の木々を鳴らして夜風は耳朵を打つ。蛙鳴響く夜半、彼等何を夢みん。

7月13日、土。植岡君再度実習に出発前の休養を、静かな寄宿舍で。夜は若松君が貰ってきた切符を持って公会堂へ拳闘見物。康君、強風について茨戸へ。若松君、3時頃病院から退庁。桜林君、樺太に行かれる先輩、時田氏を札幌駅頭に見送る。財団法人の予算報告書を市役所教育課に持参。北水営業課との休燈交渉。康君、本日より欠食宣言。

7月14日、日。植岡君、朝の汽車で再度実習（秋田方面）に出発。その儘帰省。午後より雨が降り出す。連日の強風の埃も之で収るか。夕方、旧賄、石田の小母さん訪る。

51コマ目

夜、康君「巴里祭」「会議は踊る」へ。

7月15日。ムシ暑い。今日から3人きり。若松君、朝登庁、晩は遅く迄。朝遅く、晩は出掛けて了うと終日顔を見られない。

夜、燈火管制。賄で子犬を飼い始めた様だ。

7月16日。曇、夜に入ってから風が静まったらしい。昼頃、電灯屋、休燈に来る。夕飯頃、久振りに皆揃う。但し3人。

7月17日、曇。若松君退庁7時。康君バラト。桜林君、帰舎せず。夜、久し振りに若松、康、集る。若松君、眠りを欲するや切。以て医学の労働たるを知るべし。Oh, アルバイト。

7月18日。桜林君も欠食を宣す。若松君4時頃退庁。天候かんばしからず。暑くないだけが取柄か。夕方ロング氏、康君、顔を合わす。康君、晩飯を食べに外出。間もなく、ロング氏、、、就寝。チェリー氏まだ帰らず。

7月19日。チェリー氏、康氏午後ピンポン。夕方外出、夜帰る。康君、感心にチョコクチョコと登校。明日で実験中止し、21日朝帰ると宣言。ロング氏久し振りに夕方外出。4丁目で康君と会う。

7月20日。晴勝ちの夏模様になったようだ。夜の町は博覧会も影響しているのだろうが、散歩の人で賑かだ。珍しく町に出掛けたロング氏今日は一番最後に帰る。

7月21日（日）早朝7時3分発で藤田康君帰省する。折から空は鈍い色の雲に掩われて北5条の路は埃っぽく白ツチャ気て居た。此は康君、記者が特に著しく早く起きたことにもよるのダ。舎も2人つきりになって正に寂寥！！マカナイの爺が米屋から

52コマ目

白米を取ったとか。オ、無知の徒ヨ、白米のドレイよ！！ 1俵につき？1升につき？40銭高いとか。俺等の前に開けたゼイ沢の路、舎も哲学に、禁断の扉のカギを忘た（タルヤ！！

7月22日（月）雨。曇り勝ちの毎日が積って雨になった。若松君の勤勉。桜林君の猛遊、何ぞ其れしき。

7月23日（火）晴後豪雨。ロング氏は学校、桜林氏、茨戸（スカール）。札幌は博覧会、防空演習 etc で大変デアル。

7月24日（水）曇後晴。今日より3日間防空演習デアル。飛行機と機関銃の声盛なり。

若松氏は銭函に泳ぎに行った。長い間定まらなかったお天気も今日で晴れ上るらしい。

7月25日(木)夜札幌は真の闇。桜林君、帰省。若松1人。

7月31日()本年最高の暑さ、30.7度。若松、豊平で泳ぐ。

8月7日()札幌豊平橋で納涼大会始る。

8月10日 若松朝一番で帰省す。鼠の留守となる。

9月6日(金)朝植岡君帰舎す。夜、藤田、若松、諸氏帰る。札幌はヨイ天気なり。

9月7日(土)朝早く藤田一君、釧路へ出掛く。天気よし。

9月8日(日)夜急行で藤田康君帰舎す。床次遞相突然死去す。

9月9日(月)夜、山根君帰舎。桜林君も帰札なるも未だ寄宿舍へは戻らず。

9月10日(火)昼桜林君帰舎せるも欠食。夕玉山君帰舎。7時40の急行で大鐘、谷口、平山、田村、柳川、池谷6君帰舎。

53コマ目

青函連絡船は相当荒れたとのこと。若松、山根、玉山君等、大鐘君等を迎えに駅に出る。

9月11日(水)1日遅れて大鐘君等と同じ7時40にて木村君帰舎。2、3日来の雨もからりと晴れて連絡船も平穏とのこと。予科始業

9月12日(木)昨夕小樽に連合艦隊入港〔 〕。見学に行くと思われる小学生、寄宿舍横を朝早くより通る。街にはちらほら水兵さんや士官さんが楽しげに歩いている。又空には編隊飛行の爆音いさまし。電車は国旗をはためかしている。夕食の頃、藤田一君帰舎。6時より月見の宴。円山で行う予定なるも天気かんばしからず大食堂に集う。〔 連合艦隊=戦艦伊勢ほか40余隻〕

9月13日(金)昨日軍艦拝観者3万に余る。その日大いに荒れ終に海陸の連絡途絶3500名艦に宿泊。為に帰艦中止命令に接して将兵数千名陸泊り。

今日より新食事部の活躍となる。夜、辻秀人(農1)、花島政人(理1)両君入舎さる。ともに成城高校出身とのこと。

9月14日(土)中島公園にて海軍軍楽隊演奏あり。夕食後、辻、花島両君の歓迎コンパ。グランドホテルにレコード・コンサート、谷口、藤田康、若松君等数名行く。一方、平山、池谷等は月見に円山へ暗中を登山。

9月15日(日)対小樽高商の庭球(札幌)野球(小樽)の試合があり、予科の木村君及び1年生5人、小樽に応援に行く。木村君は軍艦拝観のため、早朝出発、他は10時半に駅前に集まる。他に大鐘君は円山カメラ・デーに、谷口、藤田康君等、茨戸へ。庭球は負け、野球は8対5で勝つ。

9月16日(月)予科生は授業がないので思い／＼の処へ遊びに行く。平山、柳川、玉山、池谷4君は藻岩に、養老院口より登り、昼、軍艦岬に下る。

54コマ目

9月17日(火)予科2年生は満州事変記念のため今朝より明18日まで記念演習に参加。寄宿舍でも谷口君が之に加わった。

9月18日(水)谷口君今朝未だ暗い頃演習に向われた。而して7時を過ぐる頃となれば、遠くに銃声を聞く。

9月19日(木)谷口君等2年生は一昨日来の演習により、今日は休暇/付箋で読めず/康君と共に茨戸へ。午後6時頃帰る。

9月21日(土)午後1時半頃までに食事部その他の努力により、秋期旅行の準備整い、三々五々苗穂駅に向かう。一行は山根、辻、花島の3君を残した13名。うち谷口君は射撃のため一列車後れる予定。一行12名、或いは背広、或いは学生服、或いは白ズボン、服装は色とりどり、大部分がリュックサックを背にしてサッソウたるもの。2時40分苗穂発。北鉄〔 〕にゆられて1時間半、4時頃千歳着。直ちに北鉄のバス - 思いの外よい車 - にて又1時間の余、原始林の中を行き、支笏湖終点に到着。今度は発動機船にて10銭分だけ乗船。湖畔なる所に着く。それより林中を歩くこと4、5丁。千歳村休泊所に到り、はじめて休息(とは言うものの大して疲れず)。七輪の不足により、予定の如くには行かなかったが、予科のグループ7人と学部グループ5人が2つのナベを囲んでスキヤキに舌鼓を打つ。食後少しして暗い林中を船着き場へ散歩。途中奇態な熊に驚かされる。谷口君の事を心配する。船の事務所で聞けば僕等の船が最終とのこと。谷口君は如何したとか。〔 北鉄 = 1943年に国鉄に買収されるまで存在した北海道鉄道の略称〕

55 コマ目

9月22日(日)朝未だ薄暗い5時前に植岡君、木村君は小舟を借りに行くため起き出す。之につられて藤田康、大鐘、田村、平山、柳川、池谷、玉山君も起き、船着き場に行く。康君、植岡君の努力で危ぶまれた舟を2艘借り受け、一方は大鐘、平山、、、君、他方には植岡、康、、、、君便乗。大金君等の船は、、、遊びに、植岡君等の船は釣りに出る。つりは始めは錘の下ろし方が悪く失敗したが、すぐ近くの人に教えられて、成績非常に良く、8時過ぎ頃までに30匹を超える。釣り糸は2本だけ。その内に水に入り泳ぐ者も出てき、朝飯を済ませて一行、船を操ったり、泳いだり、写真を撮ったり、愉快地遊ぶことが出来た。

昼食後は帰り支度。2時過ぎで船出発。一路札幌へ。バスは相当の乗客。立つ者数名。夕食は舎で。姫鱒の焼き立てに歓喜する。

9月23日(月)花島君等は微積分の試験。学部の試験もそろ／＼始まるか?午後驟雨激しく、濡れる者多し。

9月24日(火)朝早くより大掃除を始めた室もあり。2号5号6号7号室は午前中に終えた様だ。午後は薄く曇って居り、彼岸のぼか／＼とした暖かさは何処へやら。札幌は何時もこんなのか?それでも植物園はにぎやかで、舎生でも3、4人行った者もある。夕食後おはぎを食う。

9月25日(水)颱風が内地に上ったとか。札幌も1日雨。雨量は相当に上がった事でしょう。食後、7、8、9月分の決算が行われた。

56 コマ目

委員の多くはソロバンが弾けなくて、時間がおびたゞしくかゝる。それでも3時間くらいで1日58銭と出てきた。それで寄宿舍より補助金が出て、55銭と決った。

9月27日(金)今日より文武会デーで、野球、庭球に出場の人月寒に射撃に出ててカップを狙う方々もある。だが、朝の元気も何処へやら。寄宿舍へはカップもメダルも来なかった。

9月28日(土)昨日に比べて大分よい天気だ。茨戸へ行く人も、円山、藻岩へ行く人もあり、舎に残って読書にふける者は極僅か。昼を少し過ぎた頃、西南方より猛烈な驟雨。舎生、元気益々盛んに、夜も遅くまで出勤。

関東には利根川が氾濫して暴威を振う。増水2尺余とか。水中〔水戸中学のこと〕の健児等、父母の地を懐しんで、何時もの元氣も何処へやら。〔舎生の予科1年、平山君、柳川君等のことを指している〕

9月29日(日)すっきり晴れた、すばらしい天気。木村君は円山より真駒内へとハイキング。お友達と一緒にとか。帰って来て、さかんに他人にうらやましがらせる。桜林、藤岡両君も同じ方向にお出かけ。午後、植物園へ1年生5人出勤。

9月30日(月)永い休みが終わり、当分、特別の休みもなさそうだ。夏休みを終えても、時々休みがもらえて、9月も速やかに終わってしまった。

イタリー、エチオピアは今月始めから戦争があるようなことを言っていたが、未だ始まらない。

57コマ目

夜に入って、かなり強い夕立がある。月次会、並、記念祭委員定まる。

月次会 谷口君、柳川君、田村君。

記念祭委員 庶務部 若松、辻君

接待部 桜林、藤岡(康)君

饗宴部 花島、谷口、田村、玉山君

余興部 木村、平山、柳川、池谷君

装飾部 山根、植岡、大鐘君。

10月1日(火)「楓林」原稿用紙1人3枚宛くばる。✂切は本月30日の予定。夕食後、平山、柳川、池谷3君、夜、市を冷やかにしに出る。藤田康、木村、玉山君。1号室は焼付に熱中。掲示板に1日一問一答欄が出来。今朝の手3本、目3つ、足4本?に対し、丹下左善、馬に乗りたる図とは。

10月2日(水)曇。夕食後、副舎長より、今年入舎した人々に来月3日のの記念祭について及びその係の仕事について説明された。温度かなり下がる。

10月3日(木)曇小雨。夕に入り晴れる。食事部、平山及び柳川、池谷3君、夜市を見学に行く。

10月4日(金)此の日、朝は1時間だけ授業をして予科生、桜星会にうつる。運動会中止。

10月5日(土)予科は応援団の努力で朝1時間だけ。寮生は定山溪へ徒歩で頑張る。朝日によれば伊工の戦闘愈々開始され、伊軍アドワに侵入猛烈に空襲をする。工軍も相当に頑張る。〔10月3日、イタリア軍、エチオピア侵攻。昭和11年5月併合〕

58コマ目

ノ付箋が邪魔ノ時より今学期最初の月次会が開かれた。先生早くよりノ付箋ノなられたが先輩一人も見えられないで一寸淋しく感ぜられたが、「月次会を考える」と言う。委員の出題に色々の案が出されたが、結局方法を変えるには至らなかった。後れたが花島、辻両君の御挨拶のあった事は云うまでもない。

10月6日(日)晴時々時雨。早朝木村君、島松へ栗拾いに。桜林君9時の汽車で銭函へ。それより手稲にハイキング。柳川、池谷両君、円山から発寒川の盤の沢へ。平山、田村、玉山3君真駒内へ。何れもハイキング。例によって、康君、谷口君は茨戸。何れも昨日のお菓子の余りを頂戴していく。

10月7日(月)曇、小雨後晴。気温がぐっと下って、各室殆ど火鉢を入れる。

10月8日(火)昨日からの寒さが引き続いて、火鉢が恋しい。

ローマ6日発の電報によれば伊軍遂に「アドワ入城」との事。

10月10日(木)晴後曇。昨日の寒さを忘れたかの様に今日は暖かである。

10月11日(金)々。午後6時半より、明葉でパテーシネの映写会があり、花島、木村、柳川、平山、池谷君等行く。

10月12日(土)余興部、初の練習として、東京音頭の講習会が夕食後食堂に行われた。出席者少し。

10月13日(日)曇ったり晴れたり。平山、柳川、田村、池谷君等は藻岩橋付近に、大鐘君は植物園に写真を、其の他の人々もあちらこちらに遊びに出掛けた。

59 - 60コマ / 余興目録、添付

プログラム

一、開会の辞 委員

一、挨拶 副舎長 藤田 一

一、現代劇「父帰る」(菊池寛原作) 余興部員

一、バイオリン独奏 桜林 繁

一、映画「マッターホン」

休憩・茶菓

一、隠し芸 来賓・先輩並びに舎生有志

一、踊り 「佐渡おけさ」「東京音頭」 余興部員他

一、映画「小品若干」

一、劇 「テンペスト」(余興部原作並に脚色) 余興部員

一、閉会の辞 委員

11月3日(月)木村、平山、柳川、玉山君等学校の式に出席。植岡、田村、山根君植物園へ装飾用の木の葉及び菊をかりに行く。記念祭には宮部先生、池上、前川先輩始め10人ほど見えられ、盛大に式及び晚餐を行う。午後7時半頃より余興。

61コマ目 07.06.13

見物人は正式の人20人位、他近所の子供多数。

劇「父帰る」は上出来。映画「マッターホン」は残念ながら「アラビアンナイト」に変更さる。茶菓の後の隠し芸に出られた先輩、来賓なれ東京音頭には途中より笹部、奥田両先輩加わる。「佐渡おけさ」は失敗。最後の劇「テンペスト」のストームは観衆皆啞然としてしまった。

11月4日 - なし

11月5日(火) 学部、査閲 午後より

11月6日(水) 予科、午前8時より雨中 査閲

11月8日(金)午後6時半より竹家で記念祭慰労晚餐会を行う。舎生全部出席。盛会でした。

11月12日(火)午後7時よりピンポン大会。最初予科対本科(本科勝)。次に個人競技等花々しく9時半頃まで頑張る。後コンパ。

11月13日(水)昨日に同じ頃より東西対抗ピンポン。西側に凱歌あがる。再びコン

パ。

1 1月16日(土) 今日初めて雪がちらりほらり降ってきた。

1 1月21日(木) 山根さん病床につく。

1 1月22日(金) 夕食後決算。昨日の予定であったが商店の通帳が集まらないので今日になったのである。

1 1月23日(土) 新嘗祭で休み。それに朝から雪が降り続き午後にはどうやら滑れる様になったので、初年兵等は皆、舎前のスロープで猛練習。夕食後は舎の大部分は洋楽演奏会に出かける。桜林君(オーケストラ)、木村君、谷口君(コーラス)3君を舎から出して一寸嬉しい。此の会が終わって帰ってきて再び電灯光線下にスキー練習。11時頃までやる。

6 2コマ目 07.06.13

1 1月24日(日) 植岡、木村、平山、玉山4君、5時頃起床、円山へスキーに。一足後れて花島、柳川両君も行く。朝食もせずに10時過ぎまで頑張り、相当疲労を見せて帰る。午後は藤田康、田村両君が三角山へ行き、暗くなるまで練習した。

1 1月25日(月) 山根さん床上げ。盲腸らしき症状も治癒す。

昨日のスキーの練習の為、池谷、柳川両君、風邪気味にて床につき、登校せず。

1 1月26日(火) 柳川君快復。

1 1月27日(水) 大鐘君の提案により、舎の懇親会を夕食後6時半頃より食堂に於いて開催。大鐘君個人の問題に関して大鐘君自身より舎生全体に了解を求め、更に平山君より、最近東西の両側の対立的な感情問題についていろいろ発議があり副舎長藤田さんより会長としてのご忠告があり、各自意見の交換を見るも感情問題を議する事とて、個人攻撃の感を呈し、会として有意義ならず。8時頃解散。

1 1月28日(木) 昼休み、スキーの選択の為、昼飯に舎に帰る者多し。池谷君の見舞客あり。

1 1月29日(金) 2、3の人スキーを新調す。文武会委員の改選行わる。午後6時半よりスキー部主催のオリンピック選手後援の為の音楽会 / 付箋で読めず / で聞きに行くもの藤田、若松、山根、植岡の諸氏。 / 付箋 / 未だ休校。午後4時頃より雪降る。

1 1月30日(土) 農学部新講堂にて小熊博士の遺伝に関する講演あり。夕食はスキ焼、肉一人当30匁。夕食後、

6 3コマ目

本年最後の月次会開催。宮部先生を始め先輩、鈴木限三先生及金森氏。月次会后、コンパ。及び来学期度委員の改選あり。決定委員左の如し。

食事部委員 花島政人、全 辻 秀人

会計部委員 山根武郎

文芸部委員 柳川洋一

運動部委員 木村一郎

衛生部委員 谷口真純

尚席上選挙法に関し異論を唱える者多く、時間長引く。

池谷君午後藤田さんと共に大学病院に行く。

1 2月1日(日) 薄曇。多くは外出せず。夕方小野村牧師、藤田副舎長を来訪さる。

12月2日(月)薄曇。蓄音機ゼンマイ修繕出来。又レコードの音を聞く。農学部新增築の上棟式挙行さる。池谷君、床についてより1週間を経過するも未だ全快せず。

12月3日(火)雪。夜中にすっかり銀世界となり積雪約3寸 - 5寸位。昼から学校をサボって円山にスキーに出掛ける者多し。出掛けし者、若松、植岡、花島、柳川、田村、平山各君。池谷君、藤田一さんに連れられて再び大学病院に行く。

64コマ目

12月4日(水)晴後薄曇。街にそろ／＼馬車橋表れて自動車もタイヤに鎖をかけたのを見受ける。谷口君藻岩方面にスキーに出掛ける。

12月5日(木)晴後曇。　、、、。池谷君部屋の中で起きる。予科の試験も近づき、舎生も段々室で勉強を始める様になった。

12月6日(金)晴。池谷君病院に行く。

12月8日(日)花島君、春香山へスキーに行く。

12月14日(土)予科試験のため講義なく今日は朝から勉強。

12月16日(月)予科試験始る。

12月17日(火)若松、桜林両君も試験、今日1日のみ。

12月20日(金)予科試験終了。午後6時過、森永にて離別コンパ。

12月21日(土)朝の急行で木村、柳川、池谷君帰省。木村君は池谷君身体調子思わしからざるため、予定を繰り上げて一緒に帰ってくれる。

夜、花島、植岡、田村君十勝の合宿へ出発。

12月22日(日)寒さ強し。朝、玉山君帰省。平山君ニセコ、スキー部合宿へ。

65コマ目 07.06.13

12月23日(月)辻田康君、連日学校へ、実験のため。夕、谷口君、山より帰る。9時の汽車で帰省。

12月24日(火)辻秀人君の筆になる青年寄宿舍の看板を玄関に取り付ける。

12月25日(水)殆ど全部のストーブ掃除。朝の急行で桜林君帰省。

12月26日(木)午後12月分決算行。1日45銭。案外安い。賄ボーナスを10割余と決す。午後1時終了。森永で午餐を共にす(オイ、クリスマスランチだぞ)。それで富貴堂でレコードを3枚買い、夕食後耳を集ませる。内大臣代わる。斉藤実子爵也。

12月27日(金)動/?/は又しても平穩無事に終わって書くことなし。

12月28日(土)全右。厳寒零下18度。

12月29日(日)朝藤田一君帰省す。この日温度急に上昇し雨降る。十勝山岳部合宿より花島、植岡、田村3君帰舎す(夜)。

12月30日(月)この頃少し十勝風吹く。夜若松の誕生祝あり。トランプに興ず。

12月31日(火)昭和10年最後の日。年越ソバを平らげた後、恒例の映画見学に出掛け、初笑いの先駆けをなす。午後10時又ソバを食う。除夜の鐘をきゝ寝に付く。

宮部先生よりキンカンの御寄贈にあずかる。

植岡君風邪で臥床。早く全快あれ!